

事業実績シート（研修及び調査・研究）

事業費の推移		前々年度決算	前年度決算	当該年度決算					
事業費（円）		—	94,200	163,280					
（財源内訳）	国庫支出金								
	県支出金								
	地方債								
	その他								
	市町振興共同事業助成金	—	62,790	108,836					
	一般財源	—	31,410	54,444					
目標・目的指標	指標名		指標設定の考え方		単位	区分	前々年度	前年度	当該年度
	①	（公財）長崎県建設技術研究センターへの派遣職員数	毎年15名程度を派遣		目標		15	15	
					実績		15	26	
				目標達成率（%）			100	173	
	②				目標				
					実績				
目標達成率（%）									

3 事業の振り返り

必要性の点検	（1）実施することによるメリット	
	<p>（内容、程度等）</p> <p>自治体職員には、行政運営に関する専門的知識とともに、変化し続ける社会情勢に対応できる高い能力が求められている。本事業は、それらの能力を習得させる貴重な機会であるとともに、他自治体の職員との交流により、それぞれの自治体が抱える課題、また先進的な取り組み事例などの情報交換の場であることから、効率的・効果的な職員の能力向上につながっている。</p>	

事業実績シート（研修及び調査・研究）

4 有効性の点検、実現性の点検

有効性の点検	(1) 目標（目的）指標の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標をほぼ達成した <input type="checkbox"/> 目標（目的）指標の実績値は、目標を下回った	
	(2) 実施前、想定していた目標・目的が達成できた理由またはできなかった理由 NERC の質の高い研修で、技術職員が能力向上を図ろうとしている。	
実現性の点検	(1) 事業への反映 <input checked="" type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できる <input type="checkbox"/> 成果は事業（実務）に反映できない	(具体的内容) 派遣した職員が得た知識や情報は、当該職員のみならず、職場において共有化を図っており、常に最新のものを蓄積しながら、実務を行っている。
	(2) 公共性の評価 本研修及び調査・研究を通じて <input checked="" type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を将来的に還元できる <input type="checkbox"/> 住民へ利益を還元できない	(具体的内容) 本研修を通じて、職員が高度な専門的知識と幅広い見識を習得することによって、より効果的な住民の福祉と地域の振興につなげられる。

5 今後の方向性

必要性の点検から 実施予定時期	<input type="checkbox"/> 事業休止	<input type="checkbox"/> 事業廃止	<input type="checkbox"/> 民営	<input type="checkbox"/> 事業終了（完了）	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
有効性の点検から 実施予定時期	<input type="checkbox"/> 目標・目的未達成	<input type="checkbox"/> 目標・目的達成	<input type="checkbox"/> 類似事業との統合		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
実現性の点検から 実施予定時期	<input type="checkbox"/> 事業へ反映	<input type="checkbox"/> 事業に反映できない	<input type="checkbox"/> その他		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持
具体的内容					

